

# 山 中 だ よ り

山中 してもらおう  
キャッチ させられる人から  
フレーズ する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第5号

発行 令和2年6月3日 校長 交久瀬 善浩

## ◆◆学校再開！！◆◆

一昨日から学校再開しました。これで午前の授業1回、午後の授業1回を経験したわけですが、体調などは大丈夫ですか？12日（金）まではクラスの全員が揃うことなく半数だけの顔合わせですが、ずっと家で過ごしたことを思えば随分気持ちが明るくなったのではないのでしょうか。そして2・3年生の皆さんにとっては久しぶりの本格的な授業、そして1年生の皆さんにとっては初めての中学校での授業、どうでしたか？1日で3時間だけの授業で、しかもクラスがAグループとBグループに2分され、午前中か午後だけの登校なので物足りなさを感じているかもしれませんね。でも授業中の様子を見て回っていると、二日ともどの顔も明るく、力があふれているように感じました。

1年生から3年生まで、A・Bグループ共に遅刻は少しありました（二日の朝少し増加）が、心配したような欠席等もなく、大変良いスタートが切れたのではと思っています。

これからしばらくは臨時休校によって個人のペースになっていた一日の生活リズムを学校生活中心のリズムにして、体調や心の状態を整えるための期間です。15日以降は通常の全員朝から登校、午後も授業、クラブ活動も可能となります。その生活リズムにスムーズに乗れるように、12日（金）までは午後からの登校の日にも午前の登校日と同じ時間に起きて、午前中は学校にいるときと同じ時間帯で学習を進めるようにしましょう。また午前中の授業から帰宅した後も、午後の授業の時間帯に合わせて、家庭学習をするように努めましょう。

家にWeb環境のある人は、boxや東書Webライブラリ、プリント広場、タブレットドリル等を使って学習を進めましょう。（案内は山田中学校のホームページに掲載しています）。また、Web環境のない人も、「無いからできない」ではなくて、教科書で予習を進めましょう。予習をする習慣をつけると授業の理解度が格段にアップします。復習をするよりもはるかに効果が高いと私は思っています。

それはどういうことかということ、予習をすれば次に学習する単元の自分の力でわかるどころとわからないところがわかってから授業が受けられるという点です。わからないところをわかって授業を受けると、そのところを学習するときに特に集中して聞くことができるからです。1時間の授業をずっと同じように集中して聞くことはなかなかできませんが、わかっていないところははっきりしているとそこだけを集中的に聞くことができるので、授業中の学習効率が上がるのです。そうすると復習はわからなかったところが本当にわかったのかを家で確認するだけでよくなり、授業を含めて同じ時間を使って学習した場合の効果がアップするということです。今まであまり予習に力点を置いてこなかった人は、是非予習に重点を置いて取り組んでみてください。



## ◆◆これからの学校生活の過ごし方について◆◆

学校が再開になったからと言って新型コロナウイルス感染症が終息したわけではありません。北海道の第2波に加え、緊急事態宣言が解除されて以降においても、すでに北九州市で小学校でのクラスター発生など第2波が来ようとしています。

（裏面に続く）

幸運にも大阪はここ数日新たな感染はほとんど発生していませんが、人の移動が通常に戻るとどうなるかわかりません。再び感染が多発するようなことのないように一人ひとりが3密を避け、マスクの着用、手洗い、うがいを徹底していきましょう。学校生活においても、友達と話をするときなどで人と人との距離をもう少し意識してとるようにしましょう。ここ2日間見ている、少し人と人との距離の確保ができていないように感じています。気を付けましょう。

### ◆◆考えてみよう◆◆

緊急事態宣言による臨時休校中に、山田中学校のHPとWeb教材として利用したBoxに掲載した「考えてみよう」シリーズですが、少しはチャレンジしてくれましたか？

読んで考えてくれる人はある程度いると思ったのですが、Boxで提出シートに自分の考えをきちっとまとめて提出してくれる人は、正直ほとんどいないだろうと思ってました。ところが、きちんと提出用シートに自分の考えをしっかりと書いて提出してくれた人が1・2年生で数名ずついたのです。驚いたと同時にすごくうれしかったです！！

ゲームに関する課題とコロナウィルスの各国の対応の課題等についてまとめてくれていたのですが、読んでいて中学生でここまでしっかり自分で考え、まとめることができるんだと感心しました。素晴らしいと思います！！まだ挑戦していない人も、まだ掲載してありますので、12日（金）までの午前や午後の家にいる時間帯に是非とも挑戦してみてください。

それでは、この号の「考えてみよう」です。今回は、私が好きなテレビ番組からです。

BSのテレ東に「ワタシが日本に住む理由」という番組があります。たまに時間があると見ているのですが、この番組は、日本に住んでいる外国の方を取り上げた番組で、何故あなたは日本に住んでいるのですかと問いかけ、それを通して、その外国の方の生きざまを描いている番組です。毎週月曜日の午後9時から放送していますので、みなさんも一度見てみてください。

その中から以前に放送されたものですが、岡山県で米作りをしているアメリカ人が取り上げられていました。このアメリカ人、名前はデービッド・ディロングさん。大学時代に留学生として来日し、日本人女性と結婚。当初アメリカで生活するも奥さんがアメリカの生活に馴染めなかったために日本へ。デービットさんは最初、東京の会社に勤務するものの言葉の壁に苦しみ、何日も泣いたとのこと。7年が過ぎて米作りがしたいと物件を探し、結果、岡山県へ移住しました。

このデービットさん、米作りだけでなく、麴や木材や鉄を加工して食器や道具まで作っています。そして自分で作った米・食器・道具等をネットで販売して収入を得ているのです。これまでに自宅、田畑、仕事場等の土地を購入し、さらに子ども達が自由に遊べるよう山も購入。そこで子どもたちはデービットさんとともに楽しんでいます。



この番組で私が注目したのは、この山で子どもたちが遊んでいる場面でのデービットさんの言葉。「山には何もない。だから子ども達は遊ぼうと思うと創造するしかない。子どもはいろんな物があると創造しなくなるけど、何もないと創造するしかない。ここで子どもに創造力が育つ。」というようなことを言われた。アメリカ人のすごさは、このような幅広い視野をもち周りの情報に振り回されず、自分で考え行動する、個が成立した国民一人ひとりの意志の強さと子どもときから鍛えられる創造力等々にあるのではと、つくづく感じさせられました。

この番組を観る度に感じるのが、日本に来る外国の方々には、自由な発想力と個としての考え、夢を実現する行動力、コミュニケーション力、辛抱強さ、努力等々の人間としての力が溢れていること。外国の方全てがこういう方々ではないにしても、日本にいる私たちそして将来の大人でみなさんがこれから一緒に社会を築いていくことになる相手は、日本に来るこのような人間性に溢れた外国の方々であることを忘れてはならないということです。

将来大人になったとき、あなたはこのような方々と対等に社会を築く力を養えていますか。

